

# 観光の経済波及効果推計 実施報告書

高山市観光課

## 観光の経済波及効果推計の結果について

### 1. 概要

#### (1) 推計の目的

観光客による消費額及び高山市内経済への波及効果を把握することにより、一層の観光振興を図ることを目的とする。

#### (2) 推計方法

国土交通省作成の乗数理論に基づく「観光経済波及効果推計支援システム」を用いて算出することとし、基礎データを得るために以下の調査を実施した。

### 2. 高山市内の観光関連事業所への調査

- ・平成24年分を調査対象期間として平成25年1月に実施
- ・高山市観光連絡協議会及び高山市旅館ホテル連絡協議会の協力により、高山市内の690件の観光関連事業所に対し調査票を送付し、391事業所から有効回答が得られた。

### 3. 推計結果

#### (1) 観光消費額

高山市観光統計によると平成24年に高山市に来訪した観光客数は3,769千人であり、そのうち宿泊客は1,961千人、日帰り客は1,808千人である。

また、宿泊客1人あたりの消費単価は25,938円（対前年比1.3%の増加）、日帰り客の1人あたりの消費単価は8,175円（対前年比9.1%の増加）であり、宿泊と日帰りの区分ごとの観光客数にそれぞれの消費単価を乗じて得た額の合計が平成24年の観光客による消費額となる。

□平成24年の観光客による消費額

宿泊客観光消費額	= 宿泊観光客数 × 宿泊客1人あたりの消費単価
	= 1,961千人 × 25,938円 ≒ <u>50,865百万円</u> …①
日帰り客観光消費額	= 日帰り観光客数 × 日帰り客1人あたりの消費単価
	= 1,808千人 × 8,175円 ≒ <u>14,780百万円</u> …②
平成24年の観光客による消費額	= <u>65,645百万円</u> …①+②

平成24年における宿泊客観光消費額は、対前年比8.0%の増加となる50,865百万円、日帰り客観光消費額は、対前年比20.2%の増加となる14,780百万円であり、観光客全体による消費額は、対前年比10.5%の増加となる65,645百万円であった。

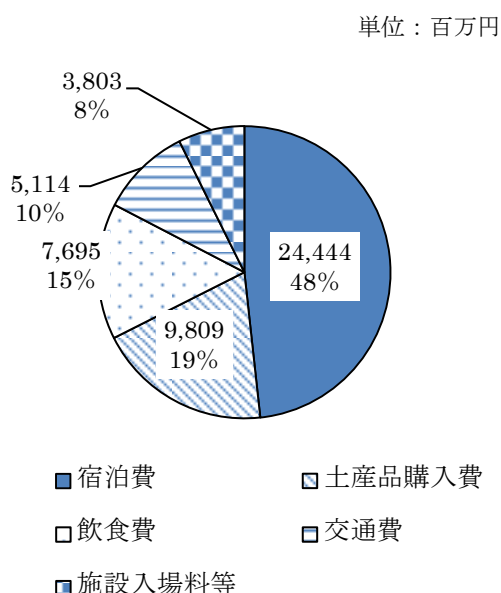
□観光消費額の内訳

区 分	宿泊観光客(1,961千人)		日帰り観光客(1,808千人)		合 計
	単価(円)	消費額(百万円)	単価(円)	消費額(百万円)	
飲食費	3,924	7,695	2,709	4,898	12,593
宿泊費	12,465	24,444	-	-	24,444
交通費	2,608	5,114	1,288	2,329	7,443
土産品購入費	5,002	9,809	3,165	5,722	15,531
施設入場料等	1,939	3,803	1,013	1,831	5,634
合 計	25,938	50,865	8,175	14,780	65,645

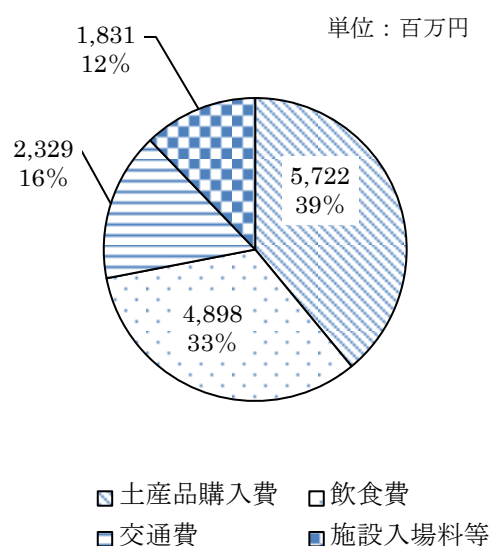
宿泊観光客(1,961千人)は、飲食費として7,695百万円(対前年比0.1%の増加)、宿泊費として24,444百万円(対前年比10.8%の増加)、交通費として5,114百万円(対前年比1.4%の減少)、土産品購入費として9,809百万円(対前年比7.6%の増加)、施設入場料等として3,803百万円(対前年比24.1%の増加)を消費している。

また、日帰り観光客(1,808千人)は、飲食費として4,898百万円(対前年比22.3%の増加)、交通費として2,329百万円(対前年比36.1%の増加)、土産品購入費として5,722百万円(対前年比8.0%の増加)、施設入場料等として1,831百万円(対前年比42.8%の増加)を消費している。

宿泊観光客による消費内訳



日帰り観光客による消費内訳



(2) 経済波及効果

上記観光消費額、及び調査により得られた売上高に占める経費等の割合、市内調達率等の値を基に国土交通省作成の「観光経済波及効果推計支援システム」を用いて推

計を行った。

□観光関連事業所アンケート結果

・売上高に占める経費等の割合

区 分	売上原価率	営業経費率	人件費率	その他の経費率	営業利益率
飲食業	39%	18%	26%	11%	6%
宿泊業	26%	29%	21%	19%	5%
交通・運輸業	25%	11%	57%	7%	0%
土産販売業	49%	17%	25%	6%	3%
観光施設業	20%	29%	34%	14%	3%
上記以外	45%	16%	26%	8%	5%

・市内調達率等（市内への支払額の割合・市内本社比率）

区 分	売上原価	営業経費	人件費	市内本社比率
飲食業	84%	90%	96%	95%
宿泊業	87%	83%	91%	93%
交通・運輸業	73%	77%	88%	96%
土産販売業	67%	81%	93%	90%
観光施設業	78%	78%	86%	90%
上記以外	38%	42%	70%	74%

その結果、観光消費額65,645百万円から波及する観光の経済波及効果総額は、観光消費額を併せて145,351百万円（対前年比12.2%の増加）と推計された。

また、波及効果は、「観光消費額」(A)と「観光消費額を併せた波及効果の総額」(B)との比率であることから、2.21倍（前年2.18倍）となる。

$\frac{\text{波及効果}}{\text{(経済波及効果総額)}} = \frac{145,351 \text{ 百万円(B)}}{65,645 \text{ 百万円(A)}} \div 2.21 \text{ 倍}$
--

《観光の経済波及効果イメージ図》

